

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	でまえ学び塾開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高野吉一		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自分の意志に基づいて、自分に適した手段や方法を選び、生涯を通じて学習を行い、生きがいのある充実した人生を送れるようにする。						
事業の概要	市民や市職員等の講師を集会所等に派遣する。講師料は無料、材料費等は自己負担となる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	利用者数	人	2,697	3,730	3,000	3,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学校での授業や、社会更生施設などからの講座依頼が増え、利用者の多様化や拡大が見られた。利用者にとってはどこにいても利用できる充実した学びの機会を、また、講師を務める市民にとっては自分の学んだ成果を活用する場として、生涯学習の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生涯学習講座・大会開催事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	大金加依		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	生涯学習推進計画に基づき、協働の観点に立ち自立できる地域リーダーの育成。生涯学習へのきっかけづくりやつながる場、市民協働のまちづくりへの機運を高める機会とする。						
事業の概要	“まちづくりリーダー”の育成を目的とし、連続講座を開催する。生涯学習振興大会を開催し、市民が生涯学習にふれる機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,069	1,178	1,540			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	市民大学延べ参加者数	人	94	27	50	50
	成果	生涯学習振興大会来場者数	人	230	400	300	300
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民大学は学校を会場として、大人と子どもが一緒に学ぶ「みんなの学校！」を2会場で開催した。生涯学習振興大会は、市内で活躍する若者やボランティアと共に活動する地域の方によるトークセッションと、教育評論家尾木直樹氏の講演会を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	学社融合促進事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	小学校や中学校は、地域（市民全体）が支え地域（市民全体）と共に歩むという意識が醸成される。						
事業の概要	学校・家庭・地域が一体で子どもを育てるため、地域学校協働本部事業を推進する。ボランティアの協力を得て、教員が子どもと向き合う時間確保と地域教育力の向上等を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	186	251	239			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	事業開催回数	回	528	778	550	550
	成果	地域学校協働活動活動サポーター	人	444	436	500	500
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和2年度から全ての小中学校で開始した地域学校協働本部事業では、サポーター数は400名程度に増加した。さくら未来塾では、40名以上の学習支援サポーターが小中学生の学習支援を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館講座事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	福田崇男		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	01	学ぶ機会の充実				
事業の目的	市民が自発的に学習するようになる。						
事業の概要	市民相互の仲間づくりを促進するために、公民館講座を企画し、氏家公民館と喜連川公民館の両館で実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	966	948	1,201			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	活動	講座受講者数	人	1,807	1,829	1,850	1,880
	活動	講座実施後における自主グループ設立数	団体	14	14	14	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	講座内容の創意工夫により、参加する市民がわずかに増加した。 自主グループは、新規認定は無かった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	青少年センター事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	鈴木真代		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	青少年が様々な体験や交流を通して自分の良さを見つけることにより、青少年を健全に育成する。						
事業の概要	課内に青少年センターを設置し、青少年健全育成事業を行う。運営協議会委員、少年育成サポーター、少年指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	3,782	4,576	5,527			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	成果	青少年センター事業に参加した人数	人	723	722	700	700
	成果	少年育成サポーター数	人	23	23	25	25
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	少年育成サポーターが体験活動班、ICT研究班、広報啓発班、研修班を編成し、体験活動や研修会の開催、広報紙「夢咲楽～和輪話通信～」の発行、全体活動としてあいさつ巡回活動（小・中・高等学校）を行い、青少年健全育成の推進が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子ども会連合会育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	子ども会の活動が活発な事業を展開することで、市内の小中学生とその保護者が「体験活動」や「研修会」に参加する機会が提供される。						
事業の概要	子ども会活動や研修等に対し補助金による支援を行う。R7年度より社会教育関係団体等補助事業に統合。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	359		359		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	活動日数	日	24	24	25	25
	成果	会員数	人	2,542	2,311	2,300	2,300
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	子ども会事業もおおむね実施でき、子ども会活動の充実が図られた。補助金交付により、団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ボーイスカウト育成補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	青少年の健全育成を図る。						
事業の概要	奉仕の精神による青少年健全育成事業や地域活動に対し、補助金による支援を行う。R7年度より社会教育関係団体等補助事業に統合。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	9	9	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度実績	6年度実績	7年度計画	8年度計画
	活動	活動日数	日	58	45	50	50
	成果	会員数	人	46	37	40	40
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	可能な限りの行事・活動を実施した。補助金を交付することで、同団体の育成及び社会教育の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら警察署管内少年指導委員会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	さくら警察署管内少年指導委員会活動を活発化する。						
事業の概要	青少年の非行防止と健全育成を図るための活動に対し、補助金による支援を行う。R7年度より社会教育関係団体等補助事業に統合。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	88		88		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	活動日数	日	13	15	13	13
	成果	会員数	人	15	15	15	15
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	街頭補導や青少年健全育成活動が行われた。補助金を交付することにより、同団体の育成及び青少年の健全育成が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	リーダースクラブ事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	生方秀典		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	02	青少年の健全育成				
事業の目的	高校生及び中学生が地域社会の一員としての自覚を高め、自己啓発や自己実現などの課題の達成をとおして、人間性豊かな青少年の育成を図ることを目的とする。						
事業の概要	子ども会活動への支援、市事業や各種団体事業への参加・協力、小学生との交流会の開催、各種研修会への参加を行い、将来地域で活躍する人材育成を図っている。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	116	126	173			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	登録者数	人	47	38	40	40
	活動	活動日数	日	50	58	50	50
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	高校生が中心となって会議や練習を行い、定期的・主体的に支援活動することができた。リーダース活動を通して、人間性豊かな青少年の健全育成が図られた。毎年継続意思確認をしているため、活動に参加できていない会員の退会等により、登録者数は減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育・家庭教育支援事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	03	家庭教育支援の充実				
事業の目的	子育てに対する不安がより解消され、家庭でいきいきとした子育てができる。						
事業の概要	家庭教育を支援するために、家庭教育オピニオンリーダーや託児ボランティアなどと連携して、各種講座や教室を開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	524		367		877	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	家庭教育講座・講習の実施回数	回	15	17	15	15
	成果	家庭教育講座の参加者数	人	1,099	1,229	1,100	1,100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	親子応援講座を市内6小学校で、親子学び合い事業（ネット時代の歩き方講習会）を市内7校で、就学前の学習・生活体験「おもしろがっこう」を2回、祖父母を対象とした講座を2回実施するなど、計17回の講座や研修を開催した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	図書館管理事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	大金加依		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	04	読書活動の推進				
事業の目的	市民の読書や調査・研究等の生涯学習活動に活用される。 子どもの読書活動が活発化される。						
事業の概要	平成27年度から指定管理者制度に移行した。施設管理ほか、資料収集、相互貸借、レファレンス業務、おはなし会や各種講座開催等の事業を市と協議の上、実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	104,774	110,051	116,896			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	年間貸出点数（図書、雑誌、AV資料）	点	286,812	275,830	276,000	276,000
	成果	年間講座参加者数	人	4,114	4,597	4,600	4,600
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	講座参加者数について、図書館で開催される事業が市民に広く認知されるようになり、参加者数が年々増加傾向にある。また、図書館利用のきっかけづくりとして図書館ツアー等の新規事業を行ったことが参加者増につながった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	課外「さくらスクール」事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	高瀬亮		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	05	課外「さくらスクール」による学びの推進				
事業の目的	子ども達の「気力・体力・学力」を総合的に育むため、多くの学びの機会を設け、前向きに努力する意欲あふれる子ども達を育成する。						
事業の概要	課外「さくらスクール」～さくら未来塾～を開設し、学力アップコース（小・中学生）と体験コース（小学生）により子ども達に多くの学びの機会を提供する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,448		3,212		4,950	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	活動	申込児童・生徒数	人	560	607	600	600
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学力コースにおいては地域の学習サポーターの支援により、参加児童の学力アップや学習意欲の向上を図ることができた。また、体験コースにおいては、児童が様々な体験を行う中で多くの学びの機会を得ることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会教育委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	鈴木真代		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	社会教育委員に社会教育に関する施策に対して意見・提言をいただく。社会教育指導員により、きめ細かい社会教育事業を行うことができるようになる。						
事業の概要	社会教育に関し諸計画を立案するため社会教育委員会議を開催する。社会教育指導員3名を配置する。社会教育委員、社会教育指導員に報酬等を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	6,931	9,687	10,021			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	社会教育委員会議出席者数	人	24	24	30	30
	成果	社会教育指導員による学級講座延べ参加者数	人	1,597	1,379	1,400	1,400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	社会教育委員会議において、生涯学習課（公民館、図書館、ミュージアム）とスポーツ振興課の重点事業等について助言等をいただいた。社会教育指導員3名は、家庭教育・青少年教育・高齢者教育の3分野で各種講座等を担当し、社会教育の振興が図られた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家公民館運営事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	福田崇男		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	施設の利便性を高め、多くの市民に生涯学習の場を提供する。						
事業の概要	開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：毎月第1、第3月曜日、第3日曜日、年末年始						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	30,829	28,583	29,725			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
		公民館年間のべ利用者数	人	40,449	48,789	49,000	49,200
		施設維持管理上の不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	利用者数は回復傾向にあるが、コロナ禍前の水準（6万5千人前後）には未だ達していない。施設管理面は、老朽化等による軽微な不具合はあるが、施設利用を制限するような不具合は発生していない。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川公民館運営事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	渡邊典子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	利用者の生涯学習意欲の高揚を図る。						
事業の概要	開館時間：9:00～21:30 休館日：第2・第4月曜日、第3日曜日、年末年始 体制：職員1名・シルバー人材センター委託						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度	6年度	7年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	12,770	19,019	16,469			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	利用者数	人	22,471	25,625	26,000	26,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	利用者数は少しずつ回復傾向にあり利用者が安心安全に利用できるよう施設の維持管理に努めた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	ゆめ！さくら博開催事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課			担当者	鈴木真代		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	03	文化薫る心豊かな人材の育成				
	施策	01	健やかに人を育み生涯にわたる学習活動の推進				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	出店者が学習した成果を発表する場・還元する場、参加者が生涯学習に触れる場・体験できる場、市民同士のネットワークづくりの場として生涯学習の振興を図る。						
事業の概要	市民と行政の協働により実行委員会を組織し、10月（土・日）に公民館や体育館を主な会場として開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,157		3,552		3,898	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	5年度 実績	6年度 実績	7年度 計画	8年度 計画
	成果	来場者数	人	2,849	5,332	5,500	5,500
	成果	出店者数	店（団体）	87	86	90	90
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	学びの成果を発表し還元する場を提供することができた。多くの中高校生ボランティアの参加や出店もあり、異世代交流の機会にもなった。また、福祉まつりとの合同開催により、共生社会の実現に向けたイベントとなり、日頃交流のない団体等とも交流が図れた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		